

# 認知症を学び地域で支えよう！

〜認知症サポーター100万人キャラバン〜

## 認知症は身近な問題です

認知症は脳の病気に起因するもので、誰にでも起こります。自分や家族が認知症になるかもしれない、決して他人事ではありません。現在、認知症の人は全国で約210万人といわれていますが、超高齢化に伴い、30年後には全国で400万人程度まで増加すると予測されています。

## 認知症になるとどうなるの？

- 同じことを言ったり聞いたりする **記憶障害**
  - しまい忘れや置き忘れが目立つ
  - 直前のことも忘れてしまう
  - 「いつ・どこ」なのかわからない **見当識障害**
  - よく知っている場所で迷う
  - 寒くても薄着のまま外に出る **判断力の低下**
  - 真夏でもセーターを着ている
  - 段取りができない **実行機能障害**
  - 物を盗まれたと言う **妄想**
  - 気持ちが落ち込んでやる気が出ない **抑うつ**
  - 目的もなく歩き回る **徘徊**
  - あるはずのないものが見える **幻覚**
- 認知症になるとこのような症状が出ますが、地域に多くの理解者・支援者がいれば、認知症の人も住み慣れた地域で安全に暮らすことができます。

## 「認知症サポーター100万人キャラバン」

“認知症になっても安心して暮らせるまち”の実現を目指して、全国的な取り組みを進めています

県内の現状

(平成23年3月31日現在)

認知症サポーター  
19,115人

認知症サポーターとは

- 認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。
- キャラバン・メイトが行う養成講座を受講するとサポーターになります。

特別な役割を担うということではなく、講座を通じて認知症を正しく理解し、できる範囲で認知症の人や家族を応援します。「友人や家族に講座で学んだ知識を伝える」、「認知症の方が困っているのを見かけたときに声をかける」、「自分が働く場で、できる範囲で手助けをする」など、ちょっとした心配りをしていただくことが主な活動です。

## 認知症サポーター講座を受講するには

受講希望の方は、お住まいの市町村の認知症対策窓口にお問い合わせください。県でも今年度、認知症サポーター養成講座を開催する予定です。詳しくは高齢福祉保険課までお問い合わせください。



高齢福祉保険課 ☎017-734-9296

## 地方独立行政法人 青森県産業技術センターは、

農林水産や工業、食品加工など様々な新技術・商品開発に取り組み、農林漁業者や中小企業者等を支援する研究機関です。

PR館 **A'lorra** (アレツラ) では、産業技術センターがプロデュースした商品の販売や研究成果をPRしています。

農業や水産業の加工品はもちろん、木工品から化粧品まで、県産技術の結晶が一堂に集まっています。



決め手くんも応援



LEDの光でレタス栽培



アイディア満載の工芸品



県産を活用した加工品



さまざまな水産加工品



## 愛称の「アレツラ」は

来店した皆さんが、あれ？ あら？ と、驚きや新たな発見などを感じるお店になれるよう期待したネーミングです。

プロテオグリカン入りの各種商品  
サケの氷頭からとれる「プロテオグリカン」は、保湿性などに効果が期待されていることから、関連食品や化粧品の商品化に取り組んでいます。



〒030-0801  
青森市新町1-11-17  
TEL 017-773-1347  
FAX 017-773-1348  
営業時間/  
AM10:00～PM6:00  
休館日/毎週月曜日

県民の皆さん、お買い求めいただける商品がたくさんあります。事業者の皆さんのご来店、ご相談をお待ちしています。